

令和 3 年度事業計画書

令和 3 年 5 月 1 日から令和 4 年 4 月 30 日まで

◆全体

- 新型コロナウイルスの影響は当面続くと思われるので、リアル活動実施時の際は十分に対策を行う。参加者募集の際は対策を明記し、厳守する。
- 各サークルはリモートを十分に活用する。
- Facebook や Youtu bu に Ryoma21 のページを作成し、新たな発信を準備中。
- 新サークルとして、「たき火の会」と「英会話グループ」の発足予定
- 本年度は 15 周年。大きなイベントなどはないが、普段の活動に絡めた企画を各サークルでも考えて実施する。以下、本部としての案
例 1：東京、高知、仙台とのコミュニケーションイベント：ZOOM 利用
例 2：Ryoma21 寺子屋（仮称）：会員などが講師になって ZOOM 講座を開催
難しいテーマではなくてよい。30 分ほど興和、その後は参加者の意見交換と交流
会員以外にも告知：募集や告知は SNS、クチコミなどを活用
- Ryoma21 の告知と会員勧誘や参加者増加につなげるため、「Ryoma21 活動概要」（資料 8-1 参照）などのチラシ、理事の名刺を活用する。＊理事名刺リニューアル
- GBC との契約更新：現在のサービスに電話、FAX の対応を加え、6 月より 22,000 円（税込）と 5500 円増

◆聞き書きの会「ききがきすと」 リーダー：松本すみ子

- 世田谷にある「100 人の本屋さん」と契約：聞き書き作品の常時展示、販売も可
- 聞き書きプレゼントキャンペーン
抽選でリアル聞き書き（55,000 円相当）を 2 名にプレゼント
SNS やメルマガなどで募集：知名度アップも
ききがきすと有資格者の活用とスキルアップ
- 豊島：6 月中に新作完成、編集担当は鶴岡
- 鶴岡：今後、中国残留孤児の聞き書きを予定
- 「ききがきすと」養成講座
100 人の本屋さん会場を使用予定、リアルと ZOOM で開催

◆茶道サークル「凜」 リーダー：葦原美和子＋サポート：山岡かよ

- 目黒区立菅刈公園和館の茶室が使えるようになり次第、例会を再開する。
- コロナの状況にもよるが、常連参加者が勤務するノルウエー大使館で立礼のお茶会を開催し。15 周年企画としたい。

◆IT サポートサークル「さくさく」：活動中止

- ◆まち歩き・食べ歩き「くうかい」 リーダー：松本すみ子
 - ・当面、3密回避、食事会の自粛、アルコール禁止で実施は不可能
 - ・ただし、宣言解除後にまち歩きとして、ききがきすと「100人の本屋さん」周辺の世田谷名所探索を実施したい。
 - ・以後の計画はコロナの状況を見ながら、他サークルとの合同開催も含めて随時検討
 - ・リアルイベントの代わりに、メールや facebook で旅情報とうまいものの紹介

- ◆シネマ倶楽部「え〜がね」 リーダー：高林京子＋サポート：豊島道子
 - ・リーダーが参加費を気にしていたが、安くしても、さほどの反応はなかった。
 - ・今後の計画を検討中

- ◆シニア市場調査「りさち」(本部事業) 担当：鶴池史子
 - ・スポンサーの動きもほとんどなく、現時点で活動は困難

- ◆高知支部「土佐っ歩」 リーダー：鶴岡香代
 - ・コロナ禍や親の介護などで、会員は4名から3名に。
 - ・コロナの状況を見ながら、未実施の『須崎市での街歩き』について実施したい。
 - ・牧野植物園やモネの庭などを訪ねて、季節ごとの高知便りをフェイスブックにアップし、首都圏のみなさんにも楽しんでもらう。
 - ・少人数であり、支部例会は随時の開催とし、次につながる活動を探る。

- ◆チケット情報「R チケ」 リーダー：鶴池史子
 - ・有益なサービスの提供が見込めないため、活動中止とする。

- ◆LINE 見守りシステム「Ryoma21」 リーダー：豊島道子
 - ・今まで同様に見守りを実施していく。
 - ・文字と絵だけでなく、LINE ビデオ通話の利用も検討する。

- ◆たき火の会 リーダー：谷口史記
 - ・コロナ感染の状況を考慮しながら、9月以降に複数人イベント活動実施に向けて計画・準備を進めていく。
 - ・仙台におけるイベント実施も検討しつつ、新たな参加メンバーの開拓も模索していく

- ◆英会話グループ リーダー：豊島道子
 - ・英語の得意な会員が多いので、もったいない。活躍する場をつくりたい
 - ・対象を日本人とし、メンバーそれぞれの能力に応じたレッスン映像を作成して、Youtube に流す。視聴者の反応を見ながらニーズを探り、やり方を決める。

◆SNS 活用 担当：佐柳智広

- Ryoma21 の facebook を統一し、youtube ページも作成
- 各サークルリーダーと相談しながら利用方法を検討し、効果的な活用に努める。

◆メルマガ 担当：豊島道子

- 読者は 7~800 人いる。昨年度は発行できなかったが、再開して、告知に活用する

以上